

雨量と水害

1時間に20ミリ以上の雨が降ると、地割れや地表が流されたり、がけ崩れの危険が予想されます。



1時間雨量
5～15ミリ

・地面に水たまりができ、雨の降る音が聞こえる。



1時間雨量
15～20ミリ

・地面一面に水たまりができ、雨の音で話が聞きとれない。



1時間雨量
20～30ミリ

・いわゆる土砂降り状態で下水があふれる。



1時間雨量
30ミリ以上

・バケツをひっくり返したような雨が降る。

風水害に備えよう

今年も集中豪雨や台風などによる風水害の多い季節が近づきました。梅雨の時期は、河川の氾濫や土砂災害が発生しやすくなります。

【地域の状況を知る】

お住まいの地域で過去に起こった災害などを知っておくことやハザードマップを確認しておくことが大事です。自主防災組織などで危険な場所、避難場所、避難経路などを確認・点検しておきましょう。

【気象情報など情報の入手】

台風の接近時や雨が降り続いたりした時などは、テレビやラジオで気象情報を収集し、十分注意する。

【非常持ち出し品の確認】

飲料水や食料、避難のために必要なもの(懐中電灯、ラジオ、衣類など)、個人ごとの必需品(持病の薬、生理用品など)。

【住まいの点検】

- ・瓦などは固定されているか。
- ・水の流れをスムーズにするために、側溝・排水路を掃除しているか。
- ・外壁に亀裂はないか。
- ・窓ガラスにひび割れ、がたつきはないか。

▽避難の呼びかけを待って行動するのではなく、危険を早めに察知し、正しい情報に基づき早めの対応を心がけましょう。

王迎地区自主防災訓練の実施

4月14日(日)、王迎地区が防災訓練を実施しました。各家庭でシェイクアウト訓練を行い、集会所に避難。受付訓練を行うとともに防災資機材の点検、リヤカー・仮設トイレの組み立てなどを行いました。

また、消防団による初期消火訓練や消防職員による救急救命訓練も行い、災害時の備えを再確認しました。全体で86名が参加し、子どもたちも炊き出し訓練に参加するなど、にぎやかな様子でした。



初期消火訓練の様子



炊き出し訓練の様子

防災士資格取得補助金

町では、防災士の資格を取得するために必要な経費に対し、補助金制度を設けています。興味がある方は下記までお問い合わせください。

○お問い合わせ【本庁】情報防災課 ☎43-2188

【佐賀支所】地域住民課 ☎55-3111